

# 都市再生整備計画(第7回変更)

い ま り おお かわ ちやま ち く  
伊万里・大川内山地区

さ が けん い ま り し  
佐賀県 伊万里市

平成22年8月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	佐賀県	市町村名	伊万里市	地区名	伊万里・大川内山地区	面積	980 ha
-------	-----	------	------	-----	------------	----	--------

計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標	
活力ある「行きたいまち」、安心・安全の「住みたいまち」の実現	
目標1	・観光資源の活用等による中心市街地の活性化
目標2	・歩道のバリアフリー化などにより、誰もが安心・安全に生活できるまちづくり
目標3	

目標設定の根拠	
まちづくりの経緯及び現況	
<p>【まちづくりの経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は、昭和29年4月に伊万里湾の総合開発を主要な動機として2町7村が合併して誕生した伊万里市の政治・経済・文化等の中心としての役割を果たしてきた。</li> <li>・文化面では、江戸時代に当地区北側の伊万里津から、いわゆる古伊万里が海外へ輸出されていたほか、17世紀後半には当地区南側の大川内山に鍋島藩の御用窯が置かれ、高い芸術性と優雅を極めた高級な磁器「鍋島」が生産されていた。このような歴史的な背景をもとに、他の都市にはない古伊万里に代表される陶磁文化を基調とした「古伊万里文化の香るまちづくり」を推進してきた。</li> <li>・福祉面では、障害者や高齢者の自立と社会参加を促進するため、公共施設等の改善など、バリアフリー化に努めたほか、子育て支援策においては、保育ニーズに応じた乳児保育、時間延長保育などの質の高い保育サービスにより保育所機能の向上に努めてきた。</li> <li>・都市基盤の整備では、区画整理事業等により市街地区域が拡大するとともに、公共下水道やCATV網の拡充をはじめ、市民センターや市民図書館等の整備など、都市機能が大幅に向上した。また、長年の懸案であった伊万里駅周辺の整備について、駅により分断されていた南北中心街を結ぶ伊万里駅前線の整備など、市民生活の利便性の向上や市街地への人の誘導が図られるよう、基幹交通網の整備に努めてきた。</li> </ul> <p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「古伊万里文化」を活用した中心市街地の活性化策に取り組んできたが、うまく機能しておらず中心市街地は空き店舗が非常に目立ち、活気が感じられない状況である。また、本市を訪れる観光客は年間160万人もあり、そのうちの約60万人は当地区南側の大川内山へ足を運んでいるが、駅前などのいわゆる中心部へは立ち寄らず、他市の観光地へと流れている。</li> <li>・高齢化が急速に進展しているなか、高齢者や障害者に配慮した施設の整備など、市街地のバリアフリー化が遅れている状況である。</li> <li>・基幹交通網の整備が着々と進められてきたものの、民間の宅地開発による新興住宅地の出現や、伊万里港のコンテナ貨物取扱量の増加などにより中心地区における交通量が増加しており、市街地へ人を誘導する新たなアクセス道路の整備が急務となっている。</li> </ul>	
課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地活性化の鍵となる大川内山への観光客を中心部へ回遊させる手法の構築</li> <li>・急速に進展する少子・高齢化への対応や、障害者に配慮した、市街地バリアフリー化の促進</li> <li>・基幹道路網の整備による中心市街地へのスムーズな動線の確保</li> </ul>	
将来ビジョン(中長期)	
<p>【第四次伊万里市総合計画】「21世紀を拓く 交流と創造の市民都市」を将来都市像とし、重点プランとして中心市街地活性化や福祉・共生社会構築などを掲げている。</p> <p>また、上記総合計画の後期実施計画(H16～H20)においては、伊万里で暮らしたい、暮らしてよかったと思えるようなまちとして、さらには、一度は訪れて見たいと思われるような「住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里」を目指し、「安心」、「活力」、「発展」の3つの視点をもとに各施策を計画している。</p> <p>●今回の都市再生整備計画策定を絶好の機会と捉え、中心市街地の活性化にうまく活用されていない最大の武器(大川内山)をうまく取り込みながら、活力のあるなまちづくりをめざす。</p>	

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
中心部の観光施設入場者数	人/年	市街地における観光施設(4ヶ所)への入場者数/年	観光客の増加により市街地が活性化する	61,071人	35,000(人)	H15	H22
中心部における歩行者数	人/日	駅前通りの通行者数/日(調査日:3月10日)	まちがにぎわっている状態=人通りが多い状態	1,583人	900(人)	H15	H22
市街地バリアフリー化への満足度	%	障害者を対象にアンケート調査を実施し、「概ね満足している」と回答した人の割合	満足している人が多い=歩きやすいまち	29.3(%)	70(%)	H17	H22

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1 観光・交流の拡大による焼物のまちにふさわしい中心市街地の活性化</b></p> <p>伊万里川の下流域は江戸時代に肥前陶磁器の積出港として栄えた、いわば「古伊万里発祥の地」であるが、焼物の里伊万里随一の観光スポットとして年間60万人の観光客を集める旧鍋島藩の御用窯・大川内山の窯元群と中心街のネットワーク化を図ることによって、焼物のまちにふさわしい中心市街地の活性化を図るものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市外からおとずれる観光客に対して焼物のまちを強く印象づけるため、古伊万里発祥の由来や鍋島藩御用窯の歴史などを紹介した案内板やモニュメントを駅前周辺及び大川内山に設置する。</li> <li>ハードの整備とあわせて、観光客に対して地域住民自らが伊万里の魅力やPRができるよう、観光ボランティアの育成を図る。</li> <li>交通混雑の解消を図り、中心市街地の主要施設へのアクセスを改善することにより、外部からの流入を促進する。</li> <li>新たなイベントを開催し、市外からの交流人口の拡大を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄町永山線改良工事(基幹事業、市)</li> <li>大坪木須線改良工事(基幹事業、市)</li> <li>陣内白野線改良工事(基幹事業、市)</li> <li>伊万里焼モニュメント設置事業(基幹事業、市)</li> <li>秘窯の里大川内山周辺整備工事(＝鍋島美術館環境整備 提案事業、市)</li> <li>観光ボランティア育成事業(提案事業、市)</li> <li>伊万里黒澤映画祭開催事業(提案事業、民)</li> <li>伊万里川河畔屋台村設置事業(提案事業、民)</li> <li>国際アマチュア陶芸展事業(提案事業、民)</li> <li>新商品開発支援事業(提案事業、市)</li> <li>観光集客社会実験事業(提案事業、民)</li> <li>伊万里を感じる街並み修景整備計画策定事業(提案事業、市)</li> <li>ウォーキング大会開催事業(提案事業、市)</li> <li>伊万里黒澤映画祭開催事業(関連事業)</li> <li>国際アマチュア陶芸展事業(関連事業)</li> <li>観光集客社会実験事業(関連事業)</li> </ul>
<p><b>整備方針2 障害者や高齢者、子育て中の保護者等が安心・安全に暮らせる生活環境づくり</b></p> <p>高齢者をはじめ、心身に障害を持つ人たちが次世代を担う子どもたち・その保護者が安心・安全に生活できるよう、市街地における通院や買い物などでの移動を安全で容易にするとともに、その活動の場を整備充実することによって、生きがいづくりや世代間、地域住民との交流促進とあわせて、子育て支援を通じて少子化対策を図るものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通院等で高齢者の利用が多い市道の段差を解消し、歩行時の安全確保に努める。</li> <li>体の不自由な人が気軽に安心して利用できるよう、駅前など市街地にある障害者用トイレの所在を明らかにした案内板を要所に設置する。</li> <li>未就学の発達遅延傾向の子供たちが学習や訓練をおこなう障害児発達支援センターひまわり園を、近隣の町からの利用者等の利便を考慮して、伊万里駅近くに移転新築する。</li> <li>災害危険箇所の整備による安全な生活環境の確保。</li> <li>現在の子育て世代活動支援の拠点である「伊万里子育て支援センター」はスペースや運営環境上に問題があることから、利便性のよい市民センターへ移転して子育て支援の更なる充実を図る。なお、当支援センターは、「市民センター」と一体的な施設として、地域防災計画における災害時の義援物資の集積場所及びボランティア活動拠点として位置づける。</li> <li>地域防災計画における災害時の避難所として位置づけている「老人福祉センター」は、耐震補強を行うことで、防災機能の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>延命橋線歩道段差解消工事(基幹事業、市)</li> <li>身障者トイレ案内看板設置事業(基幹事業、市)</li> <li>障害児発達支援センター建設事業(提案事業、市)</li> <li>河川改修事業(提案事業、市)</li> <li>老人福祉センター耐震補強等(基幹事業、市)</li> <li>伊万里市子育て世代活動支援センター移転改修事業(基幹事業、市)</li> <li>公園橋線(基幹事業、市)</li> <li>白野柳井町線改良工事(基幹事業、市)</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <p>①古伊万里文化の香るまちづくり 4つの商店街からなる中心市街地においては、これまで駅前通り歩道への古伊万里人形や店舗壁面へのからくり時計の設置、マンホールのデザインや歩車道ブロックへの陶板貼り付け、白壁土蔵の保存など、「古伊万里文化の香るまちづくり」をかかげて、焼物の里にふさわしい町並み修景をおこなってきた。</p> <p>②全国都市再生モデル調査事業 駅前から商店街にかけては、かつて焼物を取り扱う商人の町としてにぎわったところであり、焼物をつくる窯元が並ぶイメージを持った観光客からは焼物のまちとしての印象が薄いとの声が聞かれることから、平成17年度において「表に飛び出した古伊万里美術館」をうたった市街地における交流人口拡大に向けた実験・調査事業を行った。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,404	交付限度額	567.3	国費率	0.404
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち負担分		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路		市道栄町永山線	伊万里市	直	700m	H17	H22	H18	H22	184.0	172.0	172.0		172.0
		大坪木須線	伊万里市	直	580m	H17	H22	H18	H22	800.5	677.1	677.1		677.1
		陣内白野線	伊万里市	直	550m	H17	H22	H18	H22	174.2	161.6	161.6		161.6
		公園橋線	伊万里市	直	100m	H20	H20	H20	H20	10.2	10.2	10.2		10.2
		白野柳井町線	伊万里市	直	18m	H20	H20	H20	H20	7.8	7.8	7.8		7.8
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		(身障者トイレ案内看板)駅前等	伊万里市	直	5ヶ所	H18	H18	H18	H18	0.6	0.6	0.6		0.6
		老人福祉センター			864㎡	H18	H18	H18	H18	36.8	36.8	36.8		36.8
高質空間形成施設		(モニュメント)駅前、大川内山等	伊万里市	直	15箇所	H18	H21	H18	H21	12.0	12.0	12.0		12.0
		市道延命橋線	伊万里市	直	500m	H18	H21	H18	H21	17.0	17.0	17.0		17.0
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業		伊万里市子育て世代活動支援センター	伊万里市	直	屋内改修 183.56㎡ 駐車場1,910㎡	H19	H20	H19	H20	78.0	78.0	78.0		78.0
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,321.1	1,173.1	1,173.1	0.0	1,173.1





都市再生整備計画の区域

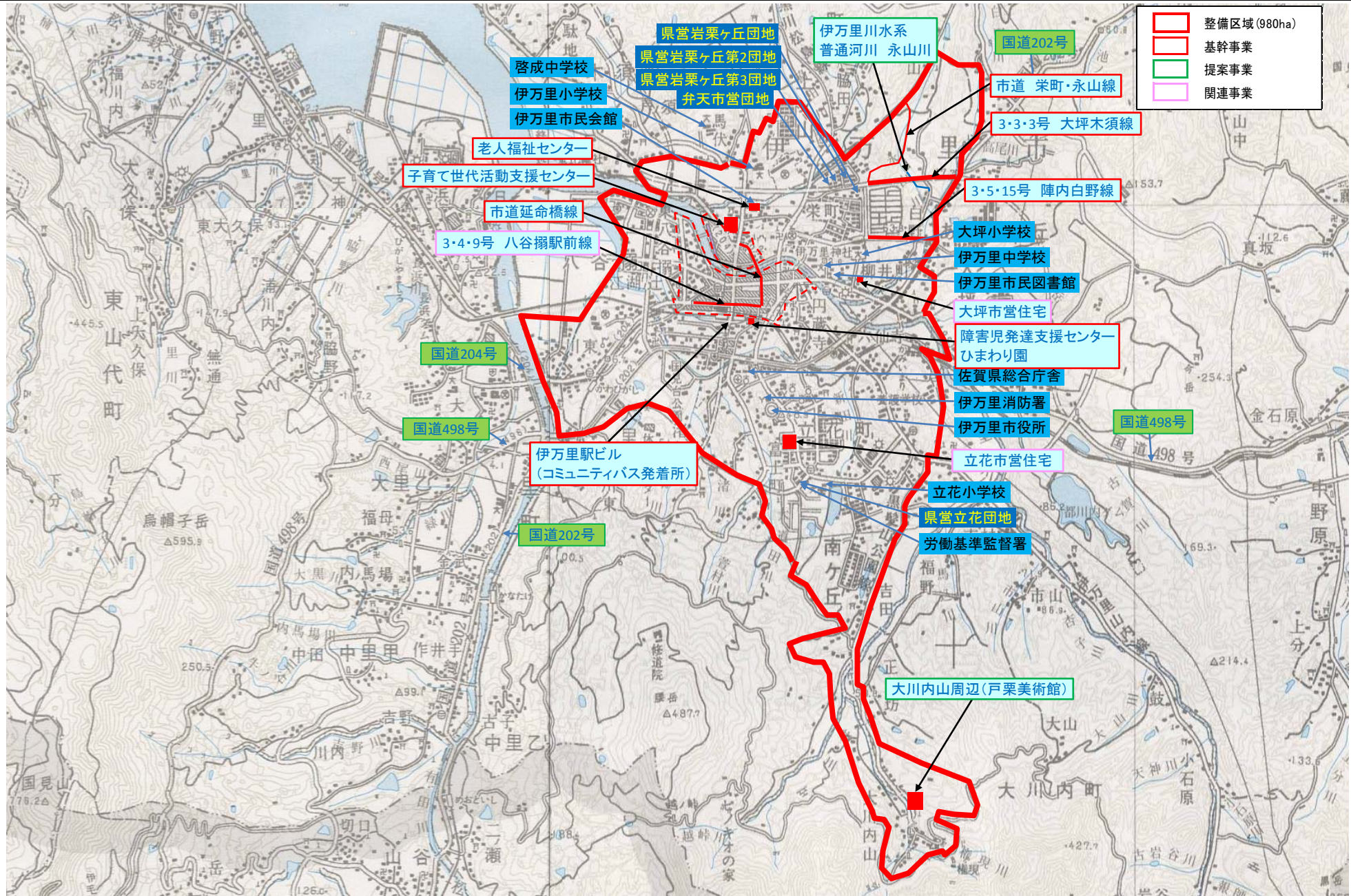
伊万里・大川内山全域(佐賀県伊万里市)

面積

980ha

区域

佐賀県伊万里市 伊万里・大川内山全域





# 伊万里・大川内地区(佐賀県伊万里市)整備方針概要図

目標	活力ある「行きたいまち」、安心・安全の「住みたいまち」の実現 ・観光資源の活用等による中心市街地の活性化 ・歩道のバリアフリー化などにより誰もが安心・安全に生活できるまちづくり	代表的な 指標	中心部の観光施設入場者数(人/日) 中心部における歩行者数(人/日) 市街地バリアフリー化への満足度(%)	61,071人(15年度)→35,000人(22年度) 1,583人(15年度)→ 900人(22年度) 29.3%(17年度)→ 70.00%(22年度)
----	--	------------	---	--

